

4th World Centenarian Initiative

第2回 弘前医療技術 イノベーションシンポジウム

寝たきり・車椅子^{ゼロ}社会を目指して

テーマ 革新的ニューロリハビリテーションの開発の現状と展望
代表世話人：石橋 恭之（弘前大学大学院医学研究科整形外科学講座 教授）

14:00-14:05 開会の辞

石橋 恭之（弘前大学大学院医学研究科整形外科学講座 教授）

14:05-14:30 Session1 基調講演

▶「HAL 医療用下肢タイプによるサイバニックニューロリハビリテーションとは何か」

中島 孝（国立病院機構新潟病院 副院長）

14:30-14:55 Session2 神経・筋疾患に対するニューロリハビリテーション

《座長》 植山 和正（弘前記念病院 病院長）

▶「自立歩行を実現するロボットリハの展開と開発」

高田 信二郎（国立病院機構徳島病院整形外科・リハ科 外科系診療部長）

14:55-16:25 Session3 脊髄損傷の現状及び脊髄損傷に対するニューロリハビリテーション

《座長》 石橋 恭之（弘前大学大学院医学研究科整形外科学講座 教授）

▶「日本せきずい基金の活動、せきずい損傷患者の思いと治療法開発への期待」

大濱 眞（日本せきずい基金 理事長）

▶「嗅粘膜移植による脊髄神経再生治療」

岩月 幸一（大阪大学脳神経外科 准教授）

[指定発言] 本望 修（札幌医科大学医学部附属フロンティア医学研究所 神経再生医療学部門 教授）

▶「ロボットスーツ HAL を用いた脊髄損傷不全麻痺患者に対する歩行訓練」

戸田 光紀（兵庫県立リハビリテーション中央病院 整形外科医長）

▶「HAL clinical trial in Germany for patients with spinal cord injury」

Prof. Thomas A. Schildhauer (General and Trauma Surgery, BG-University Hospital 'Bergmannsheil')

Break

16:40-17:05 HAL のデモンストレーション

石田 拓（CYBERDYNE 株式会社 営業部）

17:05-17:50 Session4 脳卒中に対するリハビリテーション

《座長》 津田 英一（弘前大学リハビリテーション科 教授）

▶「当院における脳卒中医療の現状」

岩田 学（一般財団法人黎明郷 弘前脳卒中・リハビリテーションセンター 副院長）

▶「リハビリテーションにおける HAL の活かし方」

浅見 豊子（佐賀大学医学部附属病院 先進総合機能回復センター 診療教授）

17:50-18:05 Session5 パネルディスカッション

《座長》 石橋 恭之（弘前大学大学院医学研究科整形外科学講座 教授）

中島 孝（国立病院機構新潟病院 副院長）

18:05-18:15 まとめと閉会の辞

▶「脊髄損傷、脳卒中に対する治療法の今後の展望」

福島 雅典（公益財団法人先端医療振興財団 臨床研究情報センター センター長）

日時

平成28年5月1日(日)

14:00-18:15

場所

弘前大学医学部
コミュニケーションセンター



参加無料

定員 100名

事前申込みは不要です。
直接会場へ
お越しください

(問い合わせ先)

TEL 0172-39-5083

弘前大学大学院医学研究科整形外科学講座

主催：弘前大学大学院医学研究科整形外科学講座、弘前記念病院

共催：ひろさき LI 株式会社（町田アンド町田商会）、公益財団法人先端医療振興財団 臨床研究情報センター